

第二次スクリーニング計画の結果公表について

横須賀市では、地震時における宅地の安全性を確保するため、第一次スクリーニングにより明らかになった大規模盛土造成地について、令和4・5年度に変動予測調査（現地調査、優先度評価）を実施し、第二次スクリーニング計画（優先度一覧）を作成しました。

今回の第二次スクリーニング計画では、大規模盛土造成地の安全性を調査するものではなく、現状把握を行い、市民の皆様の防災に役立てていただくことを目的としています。

同計画では、国土交通省が定める「大規模盛土造成地の滑動崩落対策推進ガイドライン及び同解説」に基づき、下表のとおり優先度を判定しました。

優先度ランク表

優先度ランク	大規模盛土造成地の箇所数
A1	201
A2	30
A3	16
A4	80
B1	88
B2	88
B3	66
B4	11
C	63

現地調査の結果、第一次スクリーニングにより抽出された大規模盛土造成地714箇所のうち、71箇所が大規模盛土造成地に該当しないことが判明したため、優先度ランク表の合計は643箇所となります。

また、地盤の滑動崩落を示唆する変状が認められる大規模盛土造成地は見られませんでした。

今後は、国が定める「大規模盛土造成地の経過観察マニュアル（令和5年12月）」に基づき、市職員による経過観察を実施していきます。

同計画では宅地カルテを作成しましたので、宅地審査防災課の窓口にてご覧いただけます。詳しくは、宅地審査防災課にお問い合わせください。